

稲城野草散策の会

野草スケッチ ミソソバ（タデ科）



1996/10/09

稲城市百村

絵と文 Ta

稲城は疎水の街である。

疎水といっても、観光地によくあるような、武家屋敷の前を流れて鯉が遊弋している情景を思い浮かべたとしたら、それは違う。

稲城に武家屋敷はない。稲城の疎水は農業用水なのだ。

（注：疎水…運送・給水・灌漑（かんがい）・発電などの目的で、土地を切り開い

会報第22号 2006年10月21日発行 発行責任者 尼子 房夫

て作った水路・・・岩波国語辞典より)

街の中に幾筋もの流れがあり、枝分かれしては違う方面へ流れていく。

私の家のすぐ近くにも、2本の水路がある。

カルガモが2羽（なぜかいつも2羽だ）泳いでいたり、コサギが餌の小魚を採っていることもある。

鯉も時おり姿を見せる。

先日は、カワセミが青い矢となって飛び去っていった。

地元の人は疎水とは言わない。私もそう呼んだことはないが・・・(^_^)

大丸（おおまる）用水、または単に用水、もしくは川という。

大丸用水は多摩川をせき止めて水を引いた人工の水路である。

取水口は大丸堰（ナンバンハコベの項参照）だ。

作られたのは江戸時代初期とされているが、正確な年代はわからないらしい。

元禄3年（1690）の古文書に「用水」の文字が出てくるそうなので、それよりは前ということになる。

JR南武線南多摩駅の裏側を、取水したばかりの水がとうとうと流れている。

ここに、珍しい「川の立体交差」がある。

稲城弾薬庫跡地を水源とする谷戸川と、大丸用水とが直角にぶつかるのだが、水が混じらないよう、樋を設けて交差させているのだ。

江戸時代から続いている構造だそうである。

おそらく、水利権がからむため、このような処置が行われたのではないだろうか。

先日、市役所の環境部長から聞いたところによると、大丸用水は総延長70km、流路面積は20haにおよぶという。

「この20haは今まで国の管理だったものが、最近市に移管されたんですよ。稲城市の資産が増えたことになります」と、うれしそうだった。

私には、こんなところまで国が管理していたことの方が驚きであったが。

70kmの総延長には、私有地である田んぼの用水路は、おそらく含まれていない。

そこまでカウントした場合の総延長は何kmになるのだろうか。

私が稲城に住み着いた頃、大丸用水はどぶ川だった。

特に、冬は取水を止めていたので、家庭からの排水が水源になっていて、汚れた

水がよどんでいた。

とても水辺を散策するような雰囲気ではなかった。

それが数年前、下水道の整備により、見違えるほどきれいになった。

我が家も簡易浄化槽から下水に切り替えている。

考えてみれば、我が家も川を汚していた犯人の一味？だったのだ。

大丸用水の、支流の小さな流れや道路に面していないような場所では岸が土のままになっている。

これは植物にとって（私にとっても）うれしいことである。

用水のほとり、土の岸辺を散歩すると、いろいろな花が咲いている。

秋にはキク科とタデ科が目立つ。

ミゾソバは、こうした流れに沿った、浅い泥地がお好みだ。

ミクリの項でも述べたが、池や小川の浅い泥地は、ここ数十年の間に急速に姿を消した。稲城には、童謡「春の小川」に歌われているような、のどかな光景がまだ残っている。

これは後世に残すべき遺産ではないだろうか。

* * * * *

〔観察記録〕 9月24日 横沢入

台風14号で週末は雨だと脅かされて来たこの24日。天気予報が完全に外れて快晴となり、参加者は69人。雨の予報で予定を変更された方もあったのではないのでしょうか。

武蔵増戸駅からの道筋では赤いマンジュシャゲ、キンモクセイの花が満開でした。大悲願寺では、名物の白萩が咲いていて、門前では、白萩饅頭が大人気でした。またここにはコウヤマキがあり、悠久親王のお印の木ということで関心を集めていました。

来た道を少し戻って横沢入へと入りました。天気も良くかなり暑く感じました。ここでは色のついたキバナアキギリなどいろいろ観察出来てよかったと思います。大丸用水でみつからなかったナンバンハコベが花を一つ咲かせていました。メナモミとコメナモミ、アブラススキとオオアブラススキ、それぞれ近くに並んでいて、比較してみることが出来ました。(FAM)

名札付け・名札剥がし・植物名の復唱など・・・協力して下さった皆様方、本当に有難う御座いました。この会は、皆様の厚意によって、成り立っていることを

改めて実感しました。m (_) m

大悲願寺の白萩（しらはぎ）少々盛りは過ぎていましたが、見事でしたね。錦萩（にしきはぎ）の白花品種・・・ということですが…。

あ、それから、白萩はもちろん素敵だったんですけど、その群落の中で涼しげに鳴いていた「草雲雀」（クサヒバリ・・・コオロギの一種）の「声」は、素晴らしかったですね！「秋の音」にも関心をお持ち頂ければ、いっそう野歩きも楽しくなります。（めりべ）

◆観察記録（番号順）

(01) ヒヨドリジョウゴ(実)	(02) ゲンノショウコ(花)	(03) カラムシ
(04) カニクサ	(05) クワクサ	(06) シラハギ(花)
(07) オオエノコロ	(08) ユウガギク(花)	(09) ハナタデ(花)
(10) キバナアキギリ(花)	(11) ノブキ	(12) ボントクタデ
(13) ヤノネグサ	(14) ヤマゼリ(花)	(15) メナモミ
(16) コメナモミ	(17) アオミズ	(18) ヤマハッカ
(19) オトコエシ	(20) イヌタデ	(21) ヒメジソ
(22) ヤブツルアズキ(花)	(23) コアカソ	(24) ツリフネソウ(花)
(25) チョウジタデ	(26) キツネノマゴ(花)	(27) タマガヤツリ
(28) オモダカ(花)	(29) ガマズミ	(30) イボタノキ
(31) カナムグラ	(32) ママコノシリヌグイ(花)	(33) チカラシバ
(34) カゼクサ	(35) アキノノゲシ(花)	(36) イヌコウジュ
(37) アブラススキ	(38) オオアブラススキ	(39) キハギ
(40) コウヤボウキ(蕾)	(41) フジカンゾウ(花) (実)	(42) キバナアキギリ(花)
(43) ヤマハギ(花)	(44) タイアザミ(蕾)	(45) イヌトウバナ(花)
(46) クサボタン(花)	(47) ヤブハギ	(48) ヤブミョウガ
(49) ウマノミツバ	(50) ヌスビトハギ	(51) ダイコンソウ(花)
(52) ミズタマソウ(実)	(53) キンミズヒキ(花) (実)	(54) エゴマ
(55) ヤマノイモ	(56) ハダカホオズキ	(57) ケヤブハギ
(58) カシワバハグマ(花)	(59) シラヤマギク(花)	(60) ナキリスゲ
(61) ヤクシソウ	(62) ノササゲ	(63) ヒヨドリバナ
(64) ヤブマメ	(65) ヤマニガナ(花)	(66) フユイチゴ
(67) ミヤマフユイチゴ	(68) ノダケ	(69) ガンクビソウ
(70) ヤブタバコ	(71) ダンドボロギク(花)	(72) マツカゼソウ
(73) アズマヤマアザミ(花)	(74) カラスウリ	(75) ミソソバ
(76) ヌカキビ	(77) スズメウリ	

◆お渡しした資料に載っていなかったもの

コウヤマキ、イヌマキ、クワクサ、コアカソ、アオミズ、イヌタデ、ヤノネグサ、ナンバンハコベ(花)、イヌビユ、イヌショウマ(花)、アオツツラフジ、クサノオウ(花)、ミヤマフユイチゴ、ケヤブハギ、ノササゲ、キハギ、エノキグサ、ショウジョウソウ、コミカンソウ(実)、カラスウリ、チョウジタデ、ユウゲショウ(花)、キンモクセイ(花)、テイカカズラ(花)、マルバヅルコウ(花)、モミヅルコウ(花)、コムラサキ(実)、ヒメジソ、レモンエゴマ、カクトラノオ、クコ(花)、ヒヨドリショウゴ(実)、タマサンゴ(花)、ハダカホオズキ、トキワハゼ(花)、クジャクアスター(花)、シオン(花)、テバコモミジガサ、ヤブタバコ(花)、コヤブタバコ(花)、ガンクビソウ、キバナコスモス(花)、ベニバナボロギク(花)、タカサブロウ(花)、フジバカマ(植栽)、ヤマニガナ(花)、コウヤボウキ(蕾)、コメナモミ、オモダカ(花)、シオデ(実)、ヤマノイモ、クサイ、ムラサキツユクサ(花)、カゼクサ、ササガヤ、アシボソ、コチヂミザサ、オオエノコロ、オオアブラススキ、カラスビシャク、ナキリスゲ、ショウガ

〔観察記録〕 9月30日 城ヶ島

お疲れ様でした。三浦半島の先端という遠方にもかかわらず、53名という大勢の参加者があり、午後からは少し蒸し暑かったものの、楽しい観察会になりました。田中薫さん、植物の名前の読み上げありがとうございました。声がよく通って、確認・記録するのに大変助かりました。

いつものフィールドでは見慣れない海辺の植物達と出会うことが出来ました。ネコノシタの葉の表面は本当に猫の舌ですね。小さなソナレムグラ（磯馴蓍…蓍は生い茂るという意とか）の花やイワダレソウの花などなど。海辺だけあって「ハマ」のつくものが沢山ありました。ハマエノコロ、ハマエンドウ、ハマオモト、ハマカンゾウ、ハマクサフジ、ハマゴウ、ハマコンギク、ハマサオトメカズラ、ハマスゲ、ハマゼリ、ハマダイコン、ハマヒサカキ、ハマヒルガオ、ハマボウス。それにしても岩場を歩くのは疲れますね。今日は一日休養です。

また次回10月21日の「よこやまのみち」でお会いしましょう。おっと、それまで待ちきれない方には7日に「よこやまのみち」の下見があります。(FAM)

みなさま、こんばんは。

城ヶ島、たくさんの植物を見ることができて大満足でした。

みなさんそれぞれ「収穫」があったと思います。

私としてはハチジョウナとの久方ぶりの出会いが印象に残りました。(Ta)

◆観察記録（番号順）

今回の記録は、山口美智子さん、竹越恵子さんに協力していただきました。

- | | | |
|-------------------|------------------|-----------------|
| (01)ハクチョウソウ(花) | (02)ハマスゲ | (03)コマツヨイグサ(花) |
| (04)ハマヒルガオ | (05)カナリーヤシ | (06)ヤマグワ |
| (07)セイタカアワダチソウ(花) | (08)ラセイタソウ | (09)ツルボ(花) |
| (10)ヒガンバナ(花) | (11)トダシバ | (12)ティカカズラ |
| (13)フウトウカズラ | (14)イヌビワ | (15)オオムラサキシキブ |
| (16)ムクノキ | (17)ヤマノイモ | (18)カクレミノ(実) |
| (19)ヒヨドリジョウゴ(実) | (20)イタピカズラ | (21)シロダモ |
| (22)マテバシイ | (23)カラスザンショウ(実) | (24)トベラ |
| (25)タブノキ | (26)クス | (27)ヤブニッケイ |
| (28)モチノキ | (29)アオツツラフジ(花) | (30)ツボクサ |
| (31)センニンソウ | (32)クサギ(実) | (33)ガクアジサイ |
| (34)オオバイボタ(実) | (35)ママコノシリヌグイ(花) | (36)ツリガネニンジン(花) |
| (37)ノゲシ(花) | (38)シャリンバイ(実) | (39)キシウスズメノヒエ |
| (40)シマスズメノヒエ | (41)タチスズメノヒエ | (42)ネズミノオ |
| (43)アシタバ(花) | (44)ウリクサ(花) | (45)アズマネザサ |
| (46)ハチジョウススキ | (47)イヌタデ(花) | (48)ハイメドハギ(花) |
| (49)ハマコンギク(花) | (50)ハコネウツギ | (51)ハマカンゾウ(花) |
| (52)オオバグミ | (53)ワダン(花) | (54)ボタンボウフウ |
| (55)イワダレソウ(花) | (56)ミヤコグサ(花) | (57)ヒロハクサフジ(花) |
| (58)スカシユリ(実) | (59)ネコノシタ(花) (実) | (60)ハマボッサ(実) |
| (61)タイトゴメ | (62)ハマエノコロ | (63)テリハノイバラ(実) |
| (64)トウオオバコ | (65)ソナレムグラ(花) | (66)クサスギカズラ(実) |
| (67)マルバアキグミ(実) | (68)ハマゴウ(花) | (69)イソヤマデンツキ |
| (70)ハマサオトメカズラ | (71)エビツル | (72)ハマヒサカキ |
| (73)ヒメユズリハ | (74)アメリカデイコ(花) | (75)ハマオモト |
| (76)アキカラマツ | (77)オオジシバリ | (78)アカネ |
| (79)ミツバアケビ | (80)アケビ | (81)アマドコロ |
| (82)ツルナ | (83)ハマダイコン(花) | (84)ハマエンドウ(花) |
| (85)クコ(花) | (86)コマツナギ(花) | (87)オガルカヤ |
| (88)オオオナモミ(実) | (89)ヤマイ | (90)カワラスガナ |
| (91)イガオナモミ(実) | (92)ハチジョウナ(花) | |

◆城ヶ島の特殊地層

印象的といえば、城ヶ島名物？の特殊地層、火炎構造も強烈でした。
凝灰岩（海底に積もった火山灰がかたまった層）は本来、上部がフラットになっているはずですが、

それが、どうして炎のような模様を描き出したのでしょうか。なぜです。



◆今回歩いたコース



〔行事予定〕 2006/10/21（土） よこやまのみち

項 目	説 明
集 合	am10時、小田急多摩線唐木田駅改札口付近 ※会旗目標 唐木田駅の改札口は一個所だけです
交 通	小田急線新百合丘駅乗り換え小田急多摩線で終点まで 京王相模原線橋本行で京王永山乗り換え小田急多摩線で2駅目 多摩都市モノレール多摩センター駅で乗り換え小田急多摩線で1 駅目
行く先 （解散場所）	小田急多摩線唐木田駅から「よこやまのみち」を歩きます。 pm3時半頃解散予定
見所 その他	「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に選ばれた「よこや まのみち」を歩きます。
地 図	
コース	小田急多摩線唐木田駅～大妻女子大脇～正山寺～上妻病院～長池公園～せせらぎの道～蓮生寺公園～京王線堀之内駅（昨年と同じコース）。コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円。

〔行事予定〕 2006/10/28（土） 調布野草園

項 目	説 明
集 合	am10時、神代植物公園正門 ※会旗目標 集合場所が「深大寺門」から変更になっています。ご注意ください。
交 通	・ 京王線調布駅 北口ロータリー・パルコ前 小田急バス 13番乗り場 吉祥寺行、三鷹行 京王バス 14番乗り場 深大寺行 ・ 京王線つつじヶ丘駅 北口 京王バス 深大寺行 ・ 中央線三鷹駅 南口 小田急バス 5番乗り場 調布行 小田急バス 4番乗り場 深大寺行 ・ 中央線、京王井の頭線吉祥寺駅 南口丸井デパート前 小田急バス 4番乗り場 調布行 小田急バス 6番乗り場 深大寺行 * いずれも「神代植物公園前」下車。バスの乗車時間は約20分から25分程です。
行く先 (解散場所)	神代植物公園内観察、調布野草園観察 調布野草園pm4時頃解散予定
見所	セキヤノアキチョウジなど秋の野草
地 図	

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

神代植物公園入園料500円（65歳以上250円）各自負担

〔行事予定〕 2006/11/19（日） 稲城ふれあいの森

項 目	説 明
集 合	am10時、京王相模原線若葉台駅 ※会旗目標 若葉台駅の改札口は一個所だけです
交 通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で5駅目 小田急、多摩モノレールの場合は、多摩センター駅で京王線に乗換えて2駅目 若葉台駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	キャンプ村（一回りして若葉台駅へ戻ります） 若葉台駅にてpm4時頃解散予定
見所 その他	秋の草花・・・リンドウ、アキノキリンソウ、リュウノウギク、ツルドクダミなど。運が良ければクルマアザミが見られるかも
地 図	
コース	若葉台駅→南黒川→日大グラウンド脇→小田良通り→西小田良谷戸→大塚牧場脇→上谷戸大橋下→上谷戸親水公園→第4公園→若葉台駅 多少のアップダウンがあります コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円